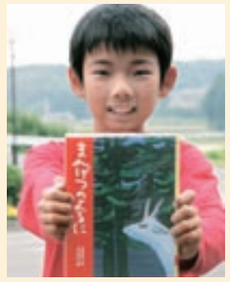
図書だより

私の推薦



岩根（いわね）　誉矩（たかのり）くん
（旭志小４年）

まんげつのよるに

木村裕一　作、あべ弘士　絵

みなさんは、オオカミとヤギの関係をどう思いうかべますか。ふつうは、オオカミにとってヤギはごちそうになってしまうところなのですが、この物語は、オオカミのガブとヤギのメイの友じょうがえがかれています。

この本は、シリーズ「あらしのよるに」の第７部です。ぼくは、第６部の「ふぶきのあした」で物語が終わってしまったと思っていたので、この本を読むことができてとてもうれしかったです。

あるあらしの夜に出会ったガブとメイは、ひみつの友だちになりました。ですが、そのひみつが森中にばれてしまい、追いつめられた２匹は山の向こうににげようとしますが、山はすごいふぶきだし、２匹は空腹で弱っていました。

そんな時、この２匹の命をねらうオオカミのむれを見たガブは、メイを守るため命をかけて向かっていきますが、なだれが何もかものみこんでしまいました。

１匹になってしまったメイ。ここまでが第６部までのお話で、第７部のこの本は、なだれにまきこまれ、メイのことを忘れてしまったガブと、緑の森でガブと出会える日を待つメイが一体どうなるのかがえがかれていて、ぼくはドキドキしながら読みました。

みなさんも、ぜひ読んでみてください。

耳より情報

4月30日（日）に「子ども読書の日お楽しみ会」を開催しました

しすい民話のかたりや子どもたちも参加した楽しいおはなし・マジックショーなどがあり、絵本を体験するコーナーでは、ペープサートを作ったりと楽しい１日を過ごしました。

「エプロンおばちゃんのおはなしのへや」によるおはなし

泗水図書館の休館にご協力ください

泗水図書館では、館内の図書資料の一斉点検・整理作業のため、特別整理期間として次の期間、休館させていただきます。

休館日：６月26日（月）～７月３日（月）

図書館では、本がコンピュータのデータのとおりにあるのかどうか、紛失してしまっている本はないか、返却処理に万が一漏れはないかを調べる必要があります。そのために「蔵書点検」という作業を行います。そこで、貸出・返却などのカウンター業務を停止する必要があり、図書館を休みにしなければなりません。

蔵書点検は、利用者の皆さんが探している資料を正確に提供できるようにするための作業です。休館中は不便をおかけしますが、どうぞご理解とご協力をよろしくお願いします。

なお、休館中の返却本は、図書館玄関横の返却ポストにお返しください。

問い合わせ先
中央公民館図書室　☎（25）1672
七城公民館図書室　☎（25）1580
旭志公民館図書室　☎（37）3111　内線 303
泗水図書館　☎（38）6866

6月の予定

		中央公民館図書室	七城公民館図書室	旭志公民館図書室	泗水図書館
1	木				
2	金				
3	土			閉室日	
4	日	閉室日	閉室日	閉室日	
5	月				休館日
6	火				
7	水				
8	木				
9	金				
10	土	きくちおはなしのもり おはなしかい 10:30～		閉室日	おはなしかい 11:00～
11	日	閉室日	閉室日	閉室日	
12	月				休館日
13	火				
14	水				
15	木	閉室日			
16	金				
17	土			閉室日	古典を楽しむ会 14:00～
18	日	閉室日	閉室日	閉室日	お楽しみ会 14:00～
19	月				休館日
20	火				
21	水				
22	木				
23	金				
24	土	きくちおはなしのもり おはなしかい 10:30～		閉室日	おはなしかい 11:00～
25	日	閉室日	閉室日	閉室日	
26	月				特別整理休館日
27	火				特別整理休館日
28	水				特別整理休館日
29	木				特別整理休館日
30	金				特別整理休館日

新着図書情報

泗水図書館

夜の公園　川上弘美　著

わたしいま、しあわせなのかな。寄りそっているのに、届かないのはなぜ。恋愛の現実に深く分け入る、川上弘美の新たな世界が広がる恋愛小説。

愛のあとにくるもの　辻仁成　著

別れのあと、互いに連絡をとらずに７年が過ぎた。言葉が足りなかったために起ったすれ違い。後悔の念は積もる。時を越え交錯する恋人たちの運命。女の視点から描いた韓国の作家・孔枝泳による同名作品も同時刊行。

棄霊島　上・下　内田康夫　著

惨劇の舞台は長崎の海に浮かぶ廃墟の島・軍艦島。殺された友人の無念を胸に、名探偵浅見光彦はひとり「巨悪」に闘いを挑む！怒れる浅見に突きつけられる、過去最大の難問。100番目の事件に大団円はあるのか。

母よ　ヘギョンの愛した家族　キムジョンヒョン　著

破産した父、売春婦になった娘、孤児院へ送られた息子・・・。失われた幸せを取り戻すべく、母・ヘギョンが立ち上がる。「母」を中心に、一旦失った愛と希望を取り戻していく「家族」の全体像を描き、52万人が涙した韓流小説。

夜の朝顔　豊島ミホ　著

クラスメイトとの微妙な距離感、となり町での発見、垣間見るオトナの事情・・・。小学生センリが初めて知る不安、痛み、恋。新しい発見に満ちた濃密な日々のなか、ゆっくりとオトナになる少女を描いた連作集。

柳生雨月抄　荒山徹　著

陰陽師にして新陰流の美剣士・柳生友景、見参！朝鮮王率いる妖術軍団との死闘、そして朝鮮柳生との息を呑む剣戟が今、幕を開ける。

ナスカ地上絵の謎　砂漠からの永遠のメッセージ　アンソニー・F・アヴェニ　著

ナスカの地上絵はどうやって描かれたのか。植民地時代の征服者から現代の冒険家まで様々な人々のナスカ訪問と、彼らによるパンパのミステリーへの多様な説明の歴史を時代ごとに記録し、ナスカの謎への客観的な答えを提示する。

ヤンキー先生の子供がわからない親たちへ　義家弘介　著

毎朝、子どもと食卓を囲んでいますか？子どものイジメに気づいたとき、親として何をしますか？悩める子どもと親を見続けてきたヤンキー先生が初めて語る「親論」。子どもを守るために「親にしかできないこと」がある。

オンリーワン　ずっと宇宙に行きたかった　野口聡一　著

地球はやっぱり青かった。「宇宙船艦ヤマト」への憧れと偶然手にした宇宙への切符。平凡な生活を変えた夢の果てには。生い立ちから始め、宇宙飛行士の候補生として認定されてから旅の実現までを語る、宇宙を翔けた冒険譚。

クシュラの奇跡　140冊の絵本との日々　ドロシー・バトラー　著

複雑な重い障害をもって生まれ、「生」のたたかいの日々の中で、たくさんの本に囲まれ、絵本を友として人生を豊かにしていった孫娘・クシュラと家族の感動の物語。巻末に「その後のクシュラ」を収録。

ケイゾウさんは四月がきらいです。　市川宣子　さく　さとうあやえ　え

ケイゾウさんは、幼稚園に住むにわとり。うさぎのみみこがやってきてから、ケイゾウさんの暮らしは、一変して・・・。けんかばかりのふたりはどうなる？

盾　SHIELD　村上龍　著

仲良しだったコジマとキジマ。やがて２人は別の道を歩むようになるが、幼い頃森に住む老人に聞いた「盾、シールドが必要だ」という謎の言葉は決して忘れなかった。不安と希望をあわせ持つすべての人に贈る、心温まる物語。

やったね！へんてこライオン　長新太　作

ゆうちゃんがポコポコ、しんくんがテクテク歩いていると、ライオンに会いました。そうしたら・・・。奇想天外なへんてこライオンの世界にようこそ。想像力を心地よく刺激する柄や言葉で読み進める幸せのひとときを家族で楽しもう。

ヘブンショップ　デボラ・エリス　作

村にライオンが来てるんだよ。エイズという名前のライオンがね。そのライオンは、子どもたちをどんどんさらっていく・・・。アフリカのマラウイで、エイズと貧困の中をけんめいに生き抜こうとする子どもたちの物語。

アイスキャンデーの木　いっしきえつこ　さく　しのざきみつお　え

あかりは、パパと木を植えに行きます。中国の内モンゴル自治区というところ。そこで友達になったシァンリンと、秘密の木を植えました・・・。2006年「砂漠と砂漠化の国際年」に贈る、砂漠に木を植えた少女のお話。

中央公民館図書室

流れ星が消えないうちに　橋本　紡　著

プラネタリウムに導かれた奈緒子と加地を引き裂いたのは、異国での彼の突然の死だった。転落したバスの中で恋人として報道され、一緒に死んだ見知らぬ女性の存在や彼の親友と付き合う自分の裏切りを受け入れられず、以来、玄関でしか眠れなくなってしまう。

夜市　恒川光太郎　著

妖怪たちの市場「夜市」に迷い込んだ人間は、取り引きしなければ元の世界に戻ることが出来ない。幼い頃「夜市」に迷い込んだ裕司は、弟と引き換えに「野球の才能」を手に入れ、帰ることが出来たが、罪悪感に苛まれていた。弟を買い戻すため再び「夜市」を訪れたが・・・。

嫌われ松子の一生　上・下　山田宗樹　作

30年前、中学教師だった松子。泣きながら故郷を捨てた日から残酷な運命が待っていた。存在さえ知らされず惨殺された伯母の人生の軌跡を辿る大学生、川尻笙。次々と明らかになる真実。一人の女性の生涯を通して人生の光と影をあぶり出す感動のミステリー作品。

下々のご意見　出久根達郎　著

移動図書館から譲り受けた猫、古本屋でも見かけない幻の本、飼い犬の友達から届いた春を喜ぶ葉書。古本屋の店主であり、作家でもある著者だから著せる、軽快な語り口で、本に関する雑学満載のエッセイ集。

ゼラルダと人喰い鬼　トミー・ウンゲラー　作

町を襲って子どもを探す怪物が、腹ぺこのあまり岩場から落ちてしまう。狙われていたとも知らない心優しい娘ゼラルダは、大事な食材を使い得意の料理で助けてあげる。この出会いが人喰い鬼を変えていく。始まりは、ちょっぴり恐ろしいけど心温まる絵本。